

GSC020-01

会場: 101

時間: 5月23日13:45-13:57

IODP第324次航海ジョイデス・レゾリューション号船上でのアウトリーチ活動の報告

Report on the outreach activities on the JOIDES Resolution IODP Exp.324

内尾 優子^{1*}, 佐野 貴司¹, William W. Sager², Joerg Geldmacher²,
IODP Expedition 324 Scientific Party³

Yuko Uchio^{1*}, Takashi Sano¹, William W. Sager², Joerg Geldmacher²,
IODP Expedition 324 Scientific Party³

¹国立科学博物館, ²Texas A&M University, USA, ³IODP

¹National Museum of Nature and Science, ²Texas A&M University, USA, ³IODP

統合国際深海掘削計画 (Integrated Ocean Drilling Program: IODP) では、海洋科学掘削船を用いて深海底を掘削することにより、地球環境変動や固体地球内部ダイナミクス、さらには地下生命圏の解明を目指した研究が行われており、日本が主導する大型の国際共同計画である。本研究活動内容を一般国民に分かりやすく紹介し、深海掘削研究が地球環境や生命の歴史をグローバルな規模で解明していく上で重要な貢献していることを理解してもらい、内容自体に興味・関心をもってもらうことは、調査研究活動を長期推進していく上で大変重要である。

これまでに、教育現場と結びつき様々な形でアウトリーチ活動が進められているが、今回、ジョイデス・レゾリューション号によるIODP第324次航海 (2009年9月から11月の2ヶ月間) において、アウトリーチ活動専属の担当が乗船し、様々な活動を行った。特に、科学への興味が薄いといわれる20代30代層向けや、及び女子中高生層へ向けのアピールを意識し、興味関心を持ってもらうための次の工夫を行った。

1) 掘削作業から採取されたコア岩石試料が研究される過程を詳細に取材、今後様々なアウトリーチ活動に活用可能な素材となる動画・画像データを収集、2)研究者・技術者には、研究内容や研究者となった背景など詳細なインタビュー調査、3) 研究内容に関して、アウトリーチ担当が各々作業のについて実際に参加し、直接それらの内容に携わってみることで初めて分かった内容についてレポートした。4) 毎日の体験日記をブログ形式でWebサイト (<http://www.kahaku.go.jp/ship/index.php?month=200911>) に取材内容を掲載した。5) JR号から国立科学博物館への週一回の生中継により活動を紹介。

これらについての実際に行った工夫の詳細について、下船後に取材内容を活用した例を詳細に報告する。

キーワード: IODP, 第324次航海, アウトリーチ活動

Keywords: IODP, Expedition 324, Outreach activities